

# 『人工膝関節全置換術後患者が退院後、疼痛や腫脹の悪化を来す因子の調査』

## 《対象者》

長浜赤十字病院にて外来通院または入院中の患者で、2024年5月1日～2025年12月31日の間に長浜赤十字病院整形外科/リハビリテーション科を受診した患者様。

## 【調査協力をお願い】

当院では『人工膝関節全置換術後患者が退院後、疼痛や腫脹の悪化を来す因子の調査』で、2024年5月1日～2025年12月31日の期間に受診された上記対象患者さんについて、以下のとおり調査を行います。この調査は対象患者さんの臨床情報を調査する研究で、患者さん個人から直接の同意はいただきず、調査実施に関するポスター、インターネットへの掲示によるお知らせを持って研究に同意をいただいたものとしします。皆さま方におかれましては、本研究・調査の主旨をご理解いただき、ご協力をお願い申し上げます。

なお、本研究・調査への参加を希望されない場合や研究調査に関するご質問等は下記の問い合わせ先までご連絡をお願い申し上げます。

## (1) 調査の概要

研究の題名 : 人工膝関節全置換術後患者が退院後、疼痛や腫脹の悪化を来す因子の調査

対象病名 : 右、左もしくは両側変形性膝関節症

情報収集期間 : 2024年5月1日 ~ 2025年12月31日

研究期間 : 承認日 ~ 2025年12月

研究責任者 : リハビリテーション科部 理学療法課 与村 隼人

## (2) 調査の意義・目的

近年、人工膝関節全置換術〔Total Knee Arthroplasty (以下、TKA)〕後における日常生活動作〔Activities of Daily Living (以下; ADL)〕能力の早期改善に影響を及ぼす因子に関して、数多く報告されており、術前後それぞれで様々な因子が注目されています。これらの理学療法学分野での報告や侵襲の少ない手術方式の確立によって、近年ではTKA後の在院日数が短縮傾向にあり、術後早期の社会復帰が可能となっています。

一方で、TKA後の患者の一部には、早期退院が可能だったにもかかわらず、退院後に疼痛や腫脹が悪化したことによって、ADL能力が低下してしまうケースが見られます。加えて、これまでに退院後における疼痛や腫脹の悪化に影響を及ぼす術前および術後因子は十分に明らかではありません。

そこで本研究の目的は、術前、術後早期および退院後の身体機能と、退院後における疼痛や腫脹の悪化に影響を及ぼす術前および術後因子の関連を調査することです。本研究結果によって、TKA患者の退院後における疼痛や腫脹の悪化に影響する因子を解明できれば、今後のリハビリテーションに大きな利益をもたらすと考えます。

## (3) 調査の方法

観察項目 : ①年齢、②身長、③体重、④BMI、⑤レントゲン画像、⑥CT画像、

⑦術前評価日/手術日/退院日、⑩Kellgren-Lawrence分類

検査項目 : ①安静時及び歩行時の疼痛の程度〔Visual Analog Scale (以下, VAS)〕、

②膝関節屈曲及び伸展関節可動域〔Range of Motion〕、

③膝蓋骨直上の大腿周径、④膝関節伸展筋力、⑤10m歩行速度

⑥万歩計による1日の歩数計測

⑦膝関節損傷・変形性関節症の転帰スコア〔Knee injury and Osteoarthritis Outcome Score〕

データの収集方法：観察項目はカルテデータを参照し、検査項目は、研究者の理学療法士4名が評価します。

(4) 利益・不利益に関して

利益：評価結果をまとめた資料を調査終了時に配布し、フィードバックを実施します。

不利益：調査期間中、ストラップタイプの万歩計を装着し続けてもらうため、皮膚症状などが発生する可能性があります。病棟看護師や患者様自身にも皮膚状態の確認をしてもらうことで、皮膚症状などの早期発見と発生防止に努めます。

(5) 個人情報保護について

データに関しては、病院内のフォルダにのみ保管します。

紙類の資料に関しては、鍵付きのロッカーに保管、もしくはシュレッダーにて廃棄します。

(6) 調査結果報告について

研究終了時に、病院所定の様式にて報告します。

(7) その他

(8) 問い合わせ等連絡先

- ・長浜赤十字病院      リハビリテーション科      理学療法課      与村 隼人  
住所： 〒526-8585 滋賀県長浜市宮前町14番7号  
電話： 0749-63-2111      FAX： 0749-63-2119